

チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
		室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	北海道 室蘭市
アイデア名 (注2) (公開)	1 Stop Reservation Services system in Muroran for Tourism		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	Team TAS		
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数 (公開)	3名		
代表者情報	氏名 (公開)	田中 暁	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をする社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。**2 ページ以内**でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

外国人観光客が増えているという現状の課題に対して、室蘭の様々な観光資源をつなぎ合わせて利用し易くすることによって、室蘭により多くの外国人観光客を呼び込むためのアイデア。

<解決アイデアの内容>

私たちのチームのアイデアは『外国人観光客が室蘭市内で利用することのできるワンストップ予約サービスシステム』の提案です。主なターゲットは「外国人観光客」で、その目的は「室蘭をより手軽に旅行をしたい」となります。もちろん外国人観光客だけではなく日本人観光客が利用することも可能です。

室蘭に既に来る予定の外国人観光客や、旅行先を北海道に決めたものの具体的にどこの都市へ行くかを決めていない外国人観光客がこのシステムを通して、室蘭市内で利用可能な複数のアクティビティ(レストラン、ホテル、交通手段、体験型観光など)を簡単に予約することができます。

システムのメカニズムは図 1 のようになり、そのプロセスは以下の通りです。

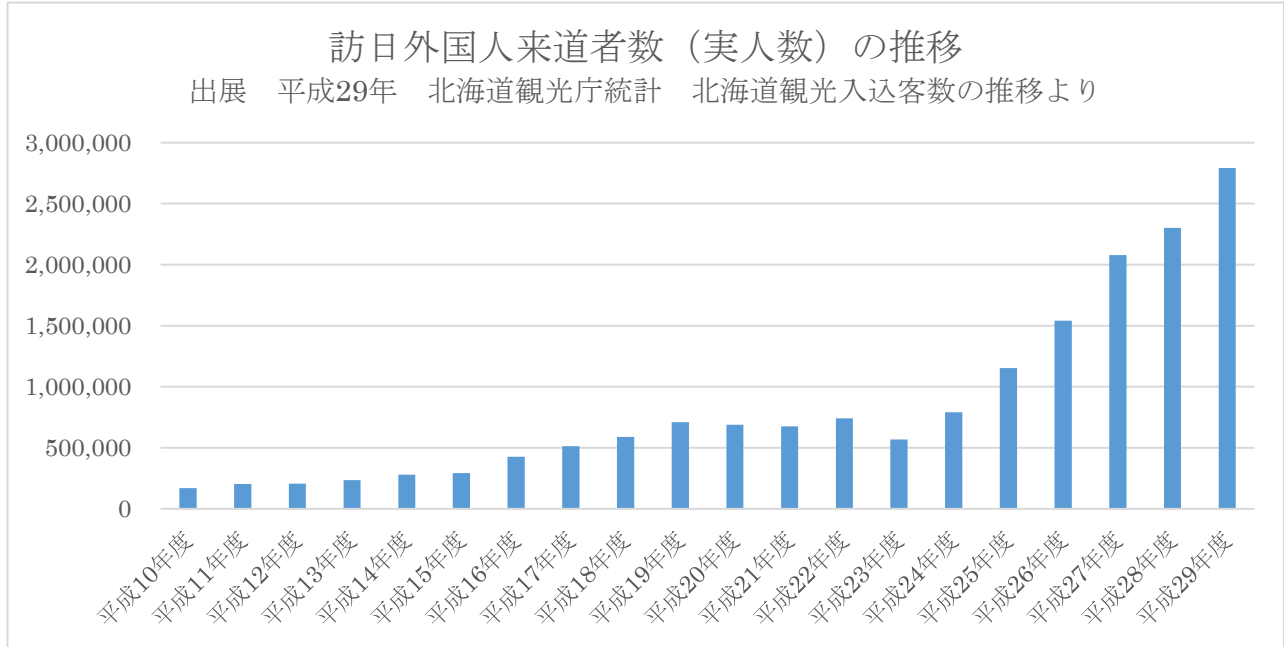
外国人観光客

1. 外国人観光客は、Event and Service Searching Module に日付、時刻、GPS 位置座標を入力することにより、サービス情報を検索することができます。
2. Events and Services Display Module では、室蘭市のイベントとサービスが表示されます。
3. Reservation Making Module によって外国人観光客は予約を行うことができます。
4. 予約された情報が Event and Service Reservation Module に送信され、データが Reservation Database に保存されます。
5. システムはすべての予約情報を Total Reservation Checking Module に送信し、すべての予約を再度確認します。
6. 外国人観光客は予約を確認し、Payment Module に支払います。このモジュールは、VISA、Master Card、JCB、Alipay などのクレジットカード決済システムにリンクされています。
7. 支払い後、システムは以下の内容をサービスの提供者および外国人観光客に通知します。
 - a. イベントとサービスの予約情報
 - b. 請求書
 - c. 提供者のための予約情報
 - d. イベントとサービスのスケジュール
8. 外国人観光客は、Cancel and Refund Module で予約をキャンセルまたは変更することができます（指定された条件の場合のみ）。

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

私たちのアイデアが主に外国人観光客をターゲットとしている理由は、近年北海道へ来る外国人観光客が大幅に増加しているからです。



このグラフからも分かる通り、平成25年度以降急激に外国人観光客が増加していることが分かります。平成29年度では2792100人も外国人観光客が北海道を訪れています。

また、図2で示されているとおり、中国、韓国、台湾などのアジア諸国が外国人観光客の多数を占めます。アジア圏においては現金よりもAlipayなどの電子決済システムを利用する人が多いため、私たちの提案したアイデアがそれらの電子決済システムを使用することの理由となります。

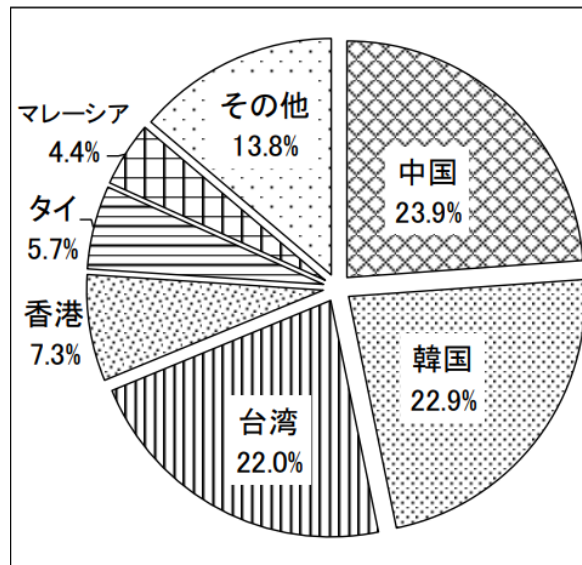


図2：国別観光客の割合（出展 平成29年 北海道観光入込客数調査報告書）

図3に示されているとおり、外国人観光客は観光情報を主にインターネットを用いて集めています。また、図4に示されているとおり、旅行の行き先を北海道にする決め手となった情報の入手先もインターネットである場合が多いことが分かります。

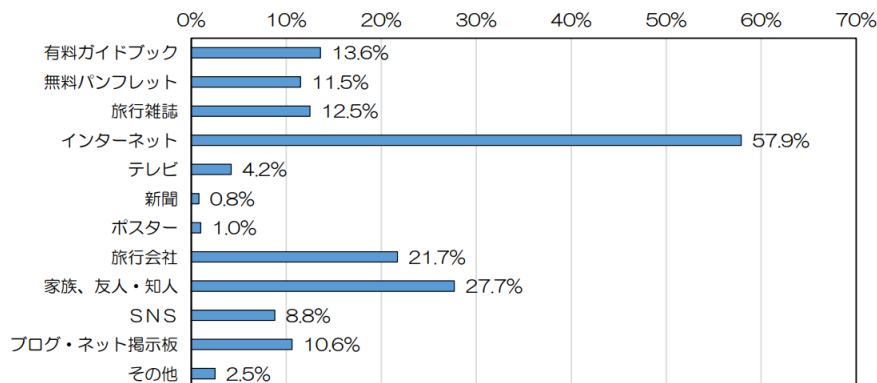


図3：観光情報の入手先（出展 平成28年 観光客動態・満足度調査 第5章 外国人観光客）

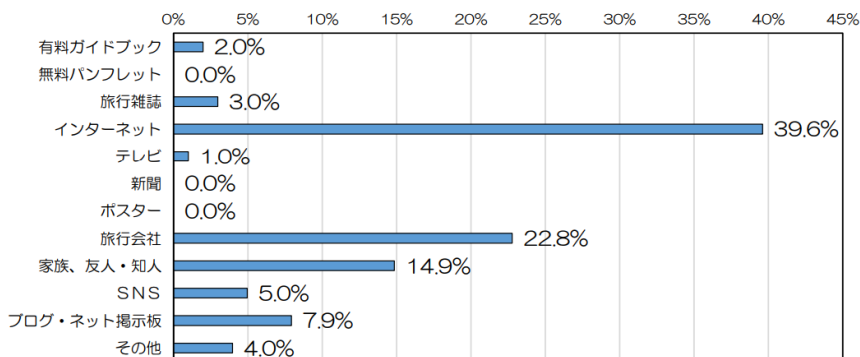


図4：旅行先（北海道）を選ぶ決め手となった観光情報
（出展 平成28年 観光客動態・満足度調査 第5章 外国人観光客）

さらに、図5に示されているとおり、近年では外国人観光客の旅行の申し込み方法の半分以上が個人で直接手配になっており、過去の推移からもインバウンド観光客のFIT化が進んでいることがわかります。以上の理由から、私たちはインターネット上で利用可能なワンストップ予約サービスを提案しました。

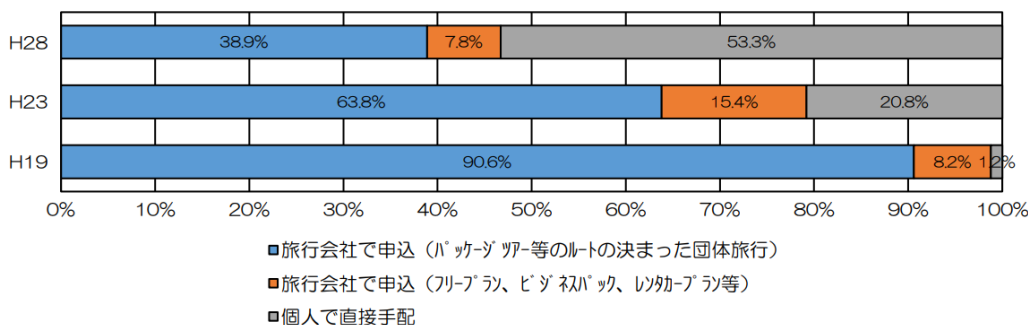


図5：旅行の申し込み方法の推移（出展 平成28年 観光客動態・満足度調査 第5章 外国人観光客）

他にも室蘭市公式ホームページ 室蘭市観光振興計画(2009)の1章4節「室蘭観光の現状」では『室蘭独自の「食」による活性化が期待されています』という記述が、1章5節「室蘭観光の課題」では『本市は滞留・滞在型観光のまちを目指すため、「体験型観光」に注目しており』という記述があり、私たちのアイデアはこの計画に沿ったものであると考えられます。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

このシステムを管理する主体は「室蘭市役所」です。ですが、システムの開発やメンテナンスなどは外部の企業に任せることになります。

システム開発に必要な資源について、メンバーの Tanasin さんのソフトウェア会社に勤める友人にある程度の見積もりを出してもらいました。

まず、人的コストについてです。必要となるのは、外国人向けのモバイルアプリケーションの作成を行う、Front-end Developer が 1 名と Back-end Developer が 1 名、管理者の Web サイトの作成を行う、Front-end Developer が 2 名と Back-end Developer が 1 名の計 5 人です。

System Architecture については、モバイルアプリケーションには Device iOS, Android と Backup server が必要となり、管理者の Web サイトには Website Server と Backup Server が必要となります。

ツールと技術については、モバイルアプリケーションには Ionic Framework (HybridApp), Android Studio, Xcode が必要となり、管理者の Web サイトには、Magento (Web Admin), MySQL Database, Apache, PHP が必要となります。

費用は 2,000,000 円で開発期間は 6 ヶ月となります。実際の開発は図 6 の工程表のように行われます。

実現に至るまでのプロセス

1. 資金調達を行う。
2. システムに加盟するレストランやホテルなど事業のオーナーの募集と依頼を行う。
3. システムで利用される決済システムの利用を申請する。
4. システムの開発及びメンテナンスを外部の企業に依頼する。
5. システムの開発後、加盟者の登録を行う。
6. Apple Store などのアプリ配信サイトにアプリケーションの申請を行う。
7. アプリが配信開始される。
8. ユーザがシステムの利用を開始する。
9. システムのメンテナンスは外部の企業が行う。（室蘭市役所でメンテナンスでも OK）
10. 観光客が増加する。

実現に際して、プロセスにおける資金の調達や加盟者の募集の段階やシステム運用の初期段階において手間取ってしまう可能性があります。致命的な問題ではないため、すぐに対応できると考えられます。

